

I 第20週の発生動向 (2013/5/13~2013/5/19)

1. インフルエンザについては、患者報告数は前週 209 人から 230 人に増加し、迅速診断キットによる型別では、A 型が前週に比べ減少し、B 型が増加しています。(詳細については、**V 県内インフルエンザ情報**をご覧ください)
2. 感染性胃腸炎については、患者報告数が、前週の 141 人から 147 人と横ばいです。

II 第20週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週比)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 *内科	(85)	インフルエンザ	56	4.3	13	0.9	28	2.0	37	5.3	58	6.4	38	6.3	230	3.6			56	4.7
小児科	(74)	RSウイルス感染症			1	0.1									1	0.0				
	(75)	咽頭結膜熱	1	0.1	4	0.4			1	0.2					6	0.1			1	0.1
	(76)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.3	12	1.3	6	0.7	1	0.2	9	1.5	1	0.3	39	1.0			10	1.3
	(77)	感染性胃腸炎	47	5.9	37	4.1	9	1.0	8	1.6	15	2.5	31	7.8	147	3.6			47	5.9
	(78)	水痘	3	0.4	1	0.1	11	1.2	1	0.2	8	1.3	2	0.5	26	0.6			3	0.4
	(79)	手足口病					4	0.4			1	0.2			5	0.1				
	(80)	伝染性紅斑			1	0.1									1	0.0				
	(81)	突発性発しん	7	0.9	4	0.4	4	0.4	1	0.2	6	1.0	1	0.3	23	0.6			7	0.9
	(82)	百日咳														0				
	(83)	ヘルパンギーナ									1	0.2			1	0.0				
(84)	流行性耳下腺炎	2	0.3	2	0.2	1	0.1	3	0.6	2	0.3			10	0.2			2	0.3	
眼科	(86)	急性出血性結膜炎														0				
	(87)	流行性角結膜炎	2	1.0											2	0.2			2	1.0
基幹	(92)	クラミジア肺炎														0				
	(93)	細菌性髄膜炎														0				
	(95)	マイコプラズマ肺炎					1	1.0	1	1.0					3	3.0			5	0.8
	(96)	無菌性髄膜炎														0				

は警報 は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：五所川原1人、むつ1人、上十三1人(2013年計:129人)
- (17) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前1人(2013年計:16人)
- (20) E型肝炎(四類全数把握疾患)：八戸1人(2013年計:2人)
- (75) 梅毒(五類全数把握疾患)：青森市1人(2013年計:1人)

IV 病原体検出情報

()内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・下気道炎患者4名(鼻汁、4/12~4/18)・・・ヒトメタニューモウイルス：弘前(1)、ライノウイルス(HRV)：弘前(2)、RSウイルス(RSV)：弘前(1)
- ・上気道炎患者1名(咽頭ぬぐい液、4/12)・・・アデノウイルス2型及びHRV：弘前(1)
- ・ヘルパンギーナ患者1名(咽頭ぬぐい液、4/11)・・・HHV6：弘前(1)
- ・感染性胃腸炎患者1名(直腸ぬぐい液、4/15)・・・サポウイルス：弘前(1)
- ・インフルエンザ患者2名(鼻汁、咽頭ぬぐい液、4/12,4/18)・・・インフルエンザウイルスA H3亜型：弘前(2)
- ・その他の患者1名(鼻汁、4/16)・・・HRV及びRSV：弘前(1)

感染症の窓

鳥インフルエンザA (H7N9) (指定感染症)

WHOのリスクアセスメント(5月17日)によると、鳥インフルエンザA(H7N9)の感染者は計131人、患者は広範囲な年齢層の男女で、多くは中高年の男性です。これまで36人が死亡し、その他の大部分は重症者と考えられています。患者は、北京市、上海市、安徽省、福建省、河南省、湖南省、江蘇省、江西省、山東省、浙江省、台北(最近江蘇省への渡航歴あり)から報告されています。

感染者の約4人に3人は、動物(大部分は鶏)への曝露歴があり、ウイルスは生鳥の市場の家禽で検出されています。生きた動物の市場を閉鎖した後、感染者は減少してきましたと見られます。確定患者の接触者2千人以上を監視、検査した結果、感染者はほとんど見つからず、持続的なヒト-ヒト感染は確認されていません。3月と4月に行ったインフルエンザ様患者2万人以上の検査では、H7N9確定患者は6人のみでした。

WHOは、鳥インフルエンザに関して、入国の特別なスクリーニングの勧告、渡航または貿易の制限を推奨してはしません。厚労省は引き続き、医療機関に対して、症状や渡航歴、動物との接触歴等から鳥インフルエンザA(H7N9)が疑われる患者について情報提供を依頼しています。

<鳥インフルエンザAについて>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunit suite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenz a/h7n9.html

V 県内インフルエンザ情報

第20週の患者報告数は、230人で、迅速診断キットによる型別はA型41人、B型189人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数

(人)

週	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
東地方	5	3			1	1	1	1			2		
弘前	126	83	77	55	32	18	25	29	23	29	10	21	13
八戸	155	117	95	57	60	43	26	35	23	18	19	17	28
五所川原	87	62	64	36	33	16	27	15	16	31	29	35	37
上十三	87	51	32	55	39	23	17	8	4	27	48	47	58
むつ	86	68	42	71	52	17	18	10	6	25	28	20	38
青森市	96	136	143	98	120	55	38	9	54	75	62	69	56
合計	642	520	453	372	337	173	152	107	126	205	198	209	230

A型（迅速診断キットによる型別です）

週	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
東地方	5	3			1	1	1	1			1		
弘前	123	83	77	55	32	17	24	22	19	13	3	5	
八戸	142	114	87	52	55	35	22	29	21	12	11	11	16
五所川原	87	62	64	35	33	16	27	15	16	29	14	7	1
上十三	87	50	31	52	36	21	17	6	3	23	26	21	18
むつ	86	68	42	71	52	16	17	9	4	6	7	2	2
青森市	81	118	133	84	116	48	35	6	7	2	1	8	4
合計	611	498	434	349	325	154	143	88	70	85	63	54	41

B型（迅速診断キットによる型別です）

週	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
東地方											1		
弘前	3					1	1	7	4	16	7	16	13
八戸			3	5	5	7	4	5	2	6	6	6	12
五所川原				1						2	15	28	36
上十三				2	1	2		2	1	3	20	25	39
むつ						1	1	1	2	9	21	18	37
青森市	13	5	8	9	2	5	2	3	45	69	59	58	52
合計	16	5	11	17	8	16	8	18	54	105	129	151	189

年齢区分別

週	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
～5ヶ月	4	1	1	2						1			
～11ヶ月	9	9	11	6	5	1			1	2	3	1	3
1歳	35	34	19	19	17	7	9	3	6	5	11	6	5
2歳	25	25	18	26	20	6	9	8	6	2	6	5	5
3歳	34	22	20	19	15	6	6	5	6	7	7	12	7
4歳	20	27	31	34	25	15	7	12	7	12	7	9	11
5歳	24	43	24	34	23	6	3	5	3	14	8	19	7
6歳	35	22	39	21	18	9	8	3	12	19	11	7	25
7歳	34	10	18	19	18	8	5	6	18	22	15	10	14
8歳	27	24	14	23	16	7	8	3	16	13	19	14	14
9歳	15	13	22	12	8	5	4	1	4	12	13	11	13
10～14歳	80	93	52	27	44	23	6	10	20	40	48	55	84
15～19歳	32	21	17	12	6	4	1	7		2	2	6	7
20～29歳	41	21	23	16	12	11	11	10	4	3	4	7	4
30～39歳	56	45	34	23	28	14	11	2	5	12	18	14	9
40～49歳	41	25	27	20	23	15	18	11	4	12	10	9	9
50～59歳	36	24	34	19	14	12	10	5	1	8	2	8	5
60～69歳	39	29	23	13	19	11	8	4	4	7	5	6	1
70～79歳	30	16	10	9	12	4	9	7	5	2	4	3	3
80歳以上	25	16	16	18	14	9	19	5	4	10	5	7	4

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第4～第19週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
4	H25.1.21 ~ H25.1.27		腸管出血性大腸菌感染症1人 風しん1人				
5	H25.1.28 ~ H25.2.3						
6	H25.2.4 ~ H25.2.10	腸管出血性大腸菌感染症1人					
7	H25.2.11 ~ H25.2.17						
8	H25.2.18 ~ H25.2.24						
9	H25.2.25 ~ H25.3.3						
10	H25.3.4 ~ H25.3.10				レジオネラ症 1人		E型肝炎 1人
11	H25.3.11 ~ H25.3.17	風しん 1人					
12	H25.3.18 ~ H25.3.24		腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人		
13	H25.3.25 ~ H25.3.31		腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
14	H25.4.1 ~ H25.4.7	腸管出血性大腸菌感染症1人				腸管出血性大腸菌感染症1人	風しん1人
15	H25.4.8 ~ H25.4.14		後天性免疫不全症候群1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
16	H25.4.15 ~ H25.4.21		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
17	H25.4.22 ~ H25.4.28	後天性免疫不全症候群1人	急性脳炎1人			風しん1人	
18	H25.4.29 ~ H25.5.5			劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
19	H25.5.6 ~ H25.5.12						

VII 結核(二類全数把握疾患)

2013年第4週～第19週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
4	H25.1.21 ~ H25.1.27	2	3	3		2	1
5	H25.1.28 ~ H25.2.3		1	1			
6	H25.2.4 ~ H25.2.10	1	3	1		1	
7	H25.2.11 ~ H25.2.17	1	2	1	1	1	
8	H25.2.18 ~ H25.2.24		1	2	1	1	
9	H25.2.25 ~ H25.3.3		3				
10	H25.3.4 ~ H25.3.10		1		1		
11	H25.3.11 ~ H25.3.17		2		1		
12	H25.3.18 ~ H25.3.24	1	2		1		
13	H25.3.25 ~ H25.3.31	1	8	2			
14	H25.4.1 ~ H25.4.7	2	1			1	
15	H25.4.8 ~ H25.4.14		5	3	4	2	
16	H25.4.15 ~ H25.4.21	3	3	1	2	1	
17	H25.4.22 ~ H25.4.28	2	4				
18	H25.4.29 ~ H25.5.5		1	2	1		1
19	H25.5.6 ~ H25.5.12	2	2	2	1	1	

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

(2013年第1週～第18週累計)

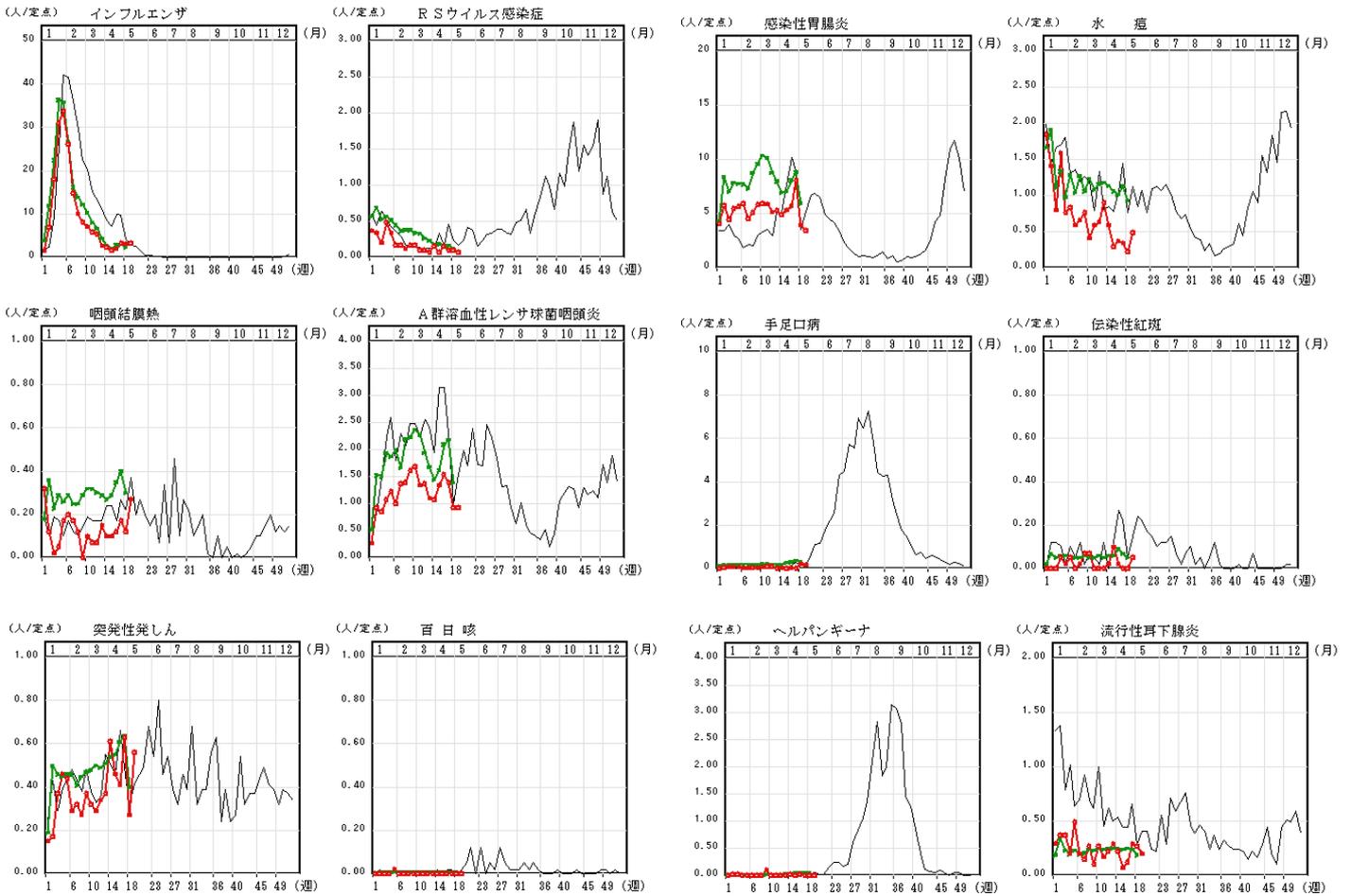
2

	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病	O熱	コクジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チンングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリアア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症
全国	8519	40	246	23	23	48	58	7	4	1	3	10	6	45	49	4	1	15	1	2	226
青森県	116	0	15	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	パノコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎	髄膜炎	髄膜炎	髄膜炎
全国	3	343	85	162	60	71	480	27	13	4	167	5	354	33	24	6262	116	2			
青森県	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0			

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

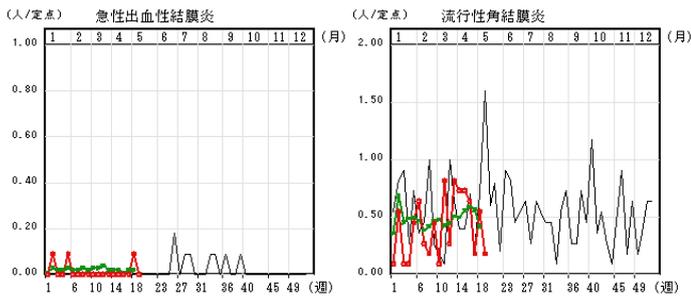
2013年第19週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、 —は2012年青森県、 ×—×は2013年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移

2013年第19週



XI 基幹定点把握疾患週別推移

2013年第19週

